



栃木市国際交流協会 だより

2015年9月30日発行
Tochigi city International Center

第7号

国際交流ハイキング



▲出流山満願寺で参加者全員で記念撮影



▲出流山奥之院へ続く山道をハイキング



▲出流ふれあいの森でゲームを楽しむ



▲満願寺で座禅体験！！

6月28日（日）、在住外国人を対象に国際交流ハイキングを行いました。梅雨の最中でしたが、この日は青空が見える好天に恵まれました。

中国、ベトナム、ミャンマー、ネパール、ブラジル、ホンジュラスなど45名の参加者は、入舟庁舎から市のバスで出流まで行きました。出流では、準備体操後、出流山満願寺の本堂裏から山道を奥之院まで歩きました。小川が流れ、木々に囲まれた山道は急な坂もありましたが、階段をのぼりきった奥之院からの眺めは最高でした。

その後、満願寺を出て、出流ふれあいの森までさらに歩き、公園内の食堂で、名物の出流そばを食べました。昼食後は、腹ごなしに参加者が6チームに分かれて、ペタンクのゲームを興じ、参加者同士の親睦を深めました。

それから、再び満願寺に戻り、寺の本堂で座禅体験をしました。右足を左の太ももに組むようにして、座り方を整え、呼吸を整えます。辺りは、緑豊かでとても静かな雰囲気だったのですが、身体が揺らいだり、目を開けてしまったり、初めての座禅は大変でした。最後に希望者は、住職から警策（きょうさく）で「バシッ」と腰をたたいてもらいました。痛かったですが、ありがたい気持ちになりました。



議事では、平成26年度事業報告、平成26年度決算報告及び平成27年度事業計画案、平成27年度予算案、協会役員の補充についてと事務局より説明があり、すべての議案が承認されました。

今回は、ペルー、フィリピン、中国、ベトナム、ブラジル、スリランカなどの47名が参加しました。参加者は4つのグループに分かれて、自分たちで肉や野菜、焼きそばなどを焼いて食べながらおしゃべりをしたり、輪投げなどの遊具で遊んだりして楽しいひとときを過ごしました。



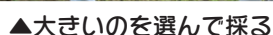
▲雨でも楽しい…



イチゴ狩りは都賀地域の田藤さんのハウスで、新品種であるスカイベリーを自由に摘ませていただきました。ここは水耕栽培で、腰を屈めなくても立ったままで、イチゴを摘むことができます。それぞれが持参した箱いっぱいに甘くてジューシーなスカイベリーを摘むことができ、大満足の様子でした。



休憩後、つがの里のバーベキュー場へ向かいました。会場は、木々に囲まれた気持ちのいい場所で、日本人と外国人が一緒に野菜をカットしたり、お肉を焼いたりと共同作業をすることで、とても楽しい交流ができました。



会場は見晴らしのよい山のふもとのおどろ園で、一人2房ずつ大きな巨峰を選んでおどろ狩りをしたあと、広い敷地の中にあるBBQ広場で、4つのグループに分かれてバーベキューを楽しみました。



ぶどう狩りは、大平藤岡岩舟地域ならではの特性があり、またバーベキューと一緒に作ったり、食べたりすることで、外国人の皆さんとより親しく打ち解けた交流ができます。ぜひ、この交流イベントを定着させ、今後も継続していきたいと思っています。

エバンズビル便り 留学生からの報告

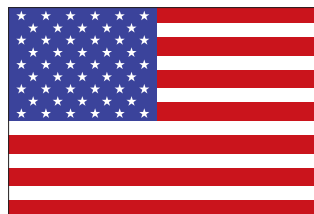


アメリカの姉妹都市エバンズビル市との交流の一環として行われている「栃木市エバンズビル市姉妹都市留学プログラム」に第6回になる今年は2名が合格し、7月下旬から現地に赴いています。

今年までに9名がこのプログラムに参加していますが、第2回の平成23年に留学された小島正さんから、エバンズビル市での生活についてお便りをいただきました。



南インディアナ大学



南インディアナ日本人補習校講師

南インディアナ大学美術部4年 小島 正

アメリカ合衆国の中東部をオハイオ川が流れている。インディアナ州と南隣のケンタッキー州との境界にもなっている川である。私が住んでいるエバンズビルはこの川のすぐ北側にあって、インディアナ州の一番南端、かつ、西の外れの方にある人口約12万人の街である。このオハイオ川はミシシッピ川の支流であることから、開拓時代の鉄道敷設前は重要な物資輸送の水路になっていた。誰もが知っているリンカーン大統領は青年時代エバンズビルから車で約1時間位東に行った所に住んでいて、このオハイオ川を筏で下ったり上ったりして働いていたこともある。7歳から21歳までの14年間いた所で、現在は州立公園として整備され当時住んでいた家（レプリカ）や記念館がある。また、もっと歴史を遡るとネイティブインディアンがこの川のほとりに集落を作って住んでいて、時々その当時の遺物が見つかるようだ。ちなみに、このオハイオ川の長さは1,579Km。利根川が約322Kmということなので、アメリカがいかに広大かが分かる。

川の大きさはオハイオ川とは比較にならないが、栃木市には中心部を巴波川が流れ、かつて、江戸との流通の要となって栃木市の商業の発展に大きな役割を担ったという歴史があるが、川が街の発展に多大な貢献をしたというのは、姉妹都市同士で何か似かよっているものだなと思う。



インディアナ州の位置



エバンズビル市の位置

私は姉妹都市の交換留学プログラムで4年前の7月にエバンズビルにきました。南インディアナ日本人補習校で子供たちに日本の教科書を使って勉強を教える傍ら、南インディアナ大学に通って現在は、美術の勉強をしています。毎年、この留学プログラムが終了して日本に戻っていく人がいて、今年度は大学卒業したての前橋さんと堀部君という若い二人が新任講師としてやって来ました。彼らが赴任して1週間後に3日間に亘り「現地採用講師研修会」という大きなイベントがあり、我が補習校が幹事校として開催しました。これはシカゴ領事館管轄内の補習校先生方の研修会です。先生全員が司会やら記録やら準備係などを担当して好評裏に無事終了しました。新任の二人も「来て早々にとても良い経験をさせて頂きました。」と感想を述べていました。

日本人補習校では、小学1年生から高校3年生までのクラスが学年別に設けられそれぞれのクラスに担任の先生がいます。高学年になると人数の少ないクラスや生徒のいない学年などもあり、毎年担任の組み換えがあります。私は1学期は高校3年の担任でしたが、生徒が転出したため、現在、中学1年生の特別学級を受け持っています。授業は日本で使用している教科書を使って、基本的には週1回（土曜日）授業をします。ここに通う子供たちは、限られた少ない時間で日本の生徒と同じ内容の勉強をすることになるので、とても大変ですが、皆、現地校の授業と共に頑張って勉強しています。

お昼は全校生徒が同じ教室に集まり、教職員も一緒に持参した弁当を食べます。日本と同じように授業参観もあり、普段授業中活発に発言している子供もこういう時は、結構、おとなしくなってしまう。

毎年10月初めに運動会があり、父兄も一緒になって楽しめます。例年、父兄同士の綱引きでは赤・白両方のチームに分かれてやりますが、かなり本気モードです。



最後に私の通っている大学についてですが、前述したように私の専攻は美術。元々はエンジニアリングが専門分野だったので、全くの畑違いの勉強をしている訳ですが、若い学生に混じって授業を受けたり、油絵を描いたり、デザインや写真技術などの実技の勉強をしたりと、毎日、楽しく過ごしています。この秋学期、私が受講しているいくつかのクラスでは一つの作品が出来上がると、先生を含めてクラス全員で一人一人の作品の批評を行います。クラスメイトからのコメントは、次の作品制作への強い刺激になっています。アメリカに留学し自分の好きな事を見つけ、多少の苦労はあるけれども日々楽しんでます。還暦祝いをアメリカで留学生仲間にしてもらった私ですが、定年後にこのような充実した時が待っていたなんて、本当に有難いなと感謝の気持ちでいっぱいです。



▲小島さんと小島さんの作品及び指導の先生



▲美術の授業の様子

平成27年度外国語講座の開講



今年度の外国語講座は、下記のとおり7つの教室が開講しました。特に、英会話の各教室は定員を超える申込みがありました。

初級英会話教室

期 間：9月7日～3月7日 毎週月曜日
(全20回) 10:00～11:30
講 師：デミエン クルックスさん
受講者：20名

中級英会話教室

期 間：9月16日～3月2日 毎週水曜日
(全20回) 19:00～20:30
講 師：エドワード スキールさん
受講者：24名

観光英会話（英会話入門）

期 間：9月7日～2月29日 第1・3月曜日
(全12回) 14:00～15:30
講 師：桑原 左千恵さん
受講者：20名



中国語会話入門

期 間：9月2日～2月17日 毎週水曜日
(全20回) 19:00～20:30
講 師：谷原 季句英さん
受講者：5名

フランス語会話入門とシャンソン

期 間：9月9日～3月9日 第2・4水曜日
(全12回) 14:00～15:30
講 師：小幡 君枝さん
受講者：9名

スペイン語会話入門

期 間：9月1日～3月15日 第1・3火曜日
(全12回) 19:00～20:30
講 師：ホセ コハツさん
受講者：12名



ドイツ語会話入門

期 間：9月1日～3月15日 第1・3火曜日
(全12回) 14:00～15:30
講 師：橋本 孝さん
受講者：9名





モモ ケイタさん（ギニア 出身）

ギニア共和国（Republic of Guinea）

人口 1,170万人（2013年）

首都 コナクリ

言語 フランス語、各民族語

日本との時差 9時間



栃木市都賀町在住のケイタ モモです。出身はアフリカの西にある、ギニア共和国コナクリ市です。2013年9月に日本に来たので2年が経ちました。

私は、幼い頃からギニアの伝統楽器、ジェンベという太鼓を始めて、ミュージシャンを職としていました。ギニアでは至る所で伝統音楽が演奏され、街中で聞かない日がないほど音楽が生活の一部となっています。多くの外国の方がこの音楽を習いにギニアに来るので、私は講師としても勤めました。日本にいる現在でも、日本人の方々にギニアの伝統音楽を教えたり、県内外問わず演奏活動を行っています。

私にとって日本は、世界のどの国よりも憧れていた国でした。母国で日本人に音楽を教えているうちに、目上の人を敬う日本人の礼儀正しさ、真剣に学ぼうと努力する姿勢、頭の良さ、優しさを真摯に感じました。きっとこういう人たちがいる国は素晴らしい国なんだろうと、いつの日か行きたいという気持ちが現実になり、今では毎日日本人の家族と友人に囲まれながら楽しく生活しています。

初めは、生活のギャップがあり、食の違い、文化の違い、言葉に戸惑いました。日本では仕事が終わったら家に帰ってきて家族と過ごすというのが一般的ですが、ギニアでは友人や近所の人、親戚が頻繁に来て、家の軒下や木の下でおしゃべりして過ごします。だから、日本語もうまくできないので余計に人恋しくなりました。ごはんは、ギニアでもお米が主食ですが、日本のようにたくさんおかずが食卓に並ぶのではなく、辛いスープをご飯にかけて食べるのが主流です。日本のごはんには直ぐに慣れて、好き嫌いがないほどになりましたが、やはりギニアのごはんも食べたくなるので、たまに日本人の奥さんに作ってもらっています。言葉は、ギニアではフランス語が公用語ですが、日本では全く通じません。英語が少しできますが、これもあまり役に立ちません。日本に来て、周りの容赦ない日本語に鍛えられ、今では大体理解できて話せるようになり、生活する上では問題ありません…と思います。

月日が経ち、日本の生活に慣れ、今は日本の文化、街並み、ごはんが大好きです。毎日仕事をして、家族や友人とともに過ごし、母国ギニアにいた時よりも日本人を理解し数万倍好きになりました。ですが、母国ギニアも愛して止まない国です。発展していない国だからこそ、今の日本人に教えてあげたいことがたくさんあります。今後は、大好きな日本とギニアが繋がるように、微力ですが、音楽を通して色々な活動をしていきたいと思っています。

新規会員登録！

協会事業は、会員の皆様のご支援とご協力により運営されています。

ぜひ、趣旨にご賛同いただける方は、会員にご加入ください。

- | | | |
|-------------|----|---------|
| (1) 団体・法人会員 | 年額 | 10,000円 |
| (2) 個人会員 | 年額 | 2,000円 |
| (3) 家族会員 | 年額 | 3,000円 |

<会員の特典>

- ☆ 協会各種講座の参加費割引
- ☆ 協会発行の定期刊行物等の提供
- ☆ 市内旅行会社の企画商品の割引
- ☆ 翻訳、通訳手数料の割引など

※会員になるとTICオリジナルファイルを差し上げます。

在住外国人相談窓口

スペイン語で対応しています！

☐ 毎週火曜日 栃木市役所市民生活課外国人登録窓口 8:30~17:15

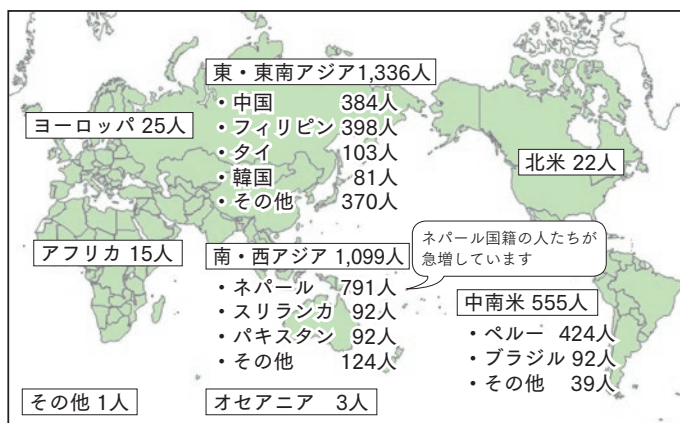
☐ 毎週木曜日 栃木市国際交流協会外国人相談窓口 8:30~17:15

8

栃木市国際交流協会だより 第7号

栃木市外国人登録者数

2015年9月1日現在



H27.9.1現在	男	女	合 計
外国籍 (栃木市全体)	1,634人	1,422人	3,056人
栃木地域	858人	794人	1,652人
大平地域	507人	389人	896人
藤岡地域	63人	55人	118人
都賀地域	106人	88人	194人
西方地域	6人	18人	24人
岩舟地域	94人	78人	172人
栃木市全人口	79,466人	81,107人	160,573人

発行

栃木市国際交流協会 (TIC)

〒328-0016

栃木市入舟町 15 番 5 号 栃木市役所入舟庁舎

TEL: 0282-25-3792 FAX: 0282-25-3928

E-mail: info@tic-tochigi.jp URL: http://www.tic-tochigi.jp